

東北日本カナダ協会交流会通訳(2014. 2.28)

東北日本カナダ協会主催の「カナディアン・カルチャースクール」が仙台ロイヤルパーク・ホテルで行われ、片山さんが講演と交流会での通訳を行いました。

当日は、バンクーバー出身のマクラウド・コリン・リーさんが「東北に住んで」と題して、カナダと日本の文化の違いや、東日本大震災での体験などについて講演がなされ、またカナダの食材を使ったディナーを囲みながら、カナダゆかりの会員の交流の場となりました。



コリン・リーさんの講演を通訳する片山さん



カナダゆかりの地域毎でのテーブルで交流



リーさんご家族等と宮城テレビ会長、主催者と

講演でのコリン・リーさんの体験と抱負は、

3.11の大震災時は丁度石巻で仕事をしていて、津波を逃れて3日間を日和山公園で過ごされました。その時の、日本人の親切で無私無欲と意思の強さに感銘を受けたそうです。そして、自宅に戻って家族と無事に再会できた喜び、その後の生活を自覚されたそうです。現在は地元の消防団にも所属し、地域活動にも積極的に参加されています。これからは日本・カナダの言葉・文化を共有し、二つの国の架け橋になるとのことです。